

全国への夢、持ち越し…“あと一步”…

明高祭が終わり、NHK杯県大会が終わりました。明高祭では朗読劇“白雪姫”と過去のテレビ番組上映に取り組みました。部員にとっては、部活動だけではなく、各クラスの動きもあり、忙しすぎたためか、県大会へはテレビ作品は3本の参加を予定していましたが、“あと少し”のところまで2本が未完となりました。県総合文化祭には完成させて参加できると思います。残り1本は、何とか作成して参加という状況でした。残念ながら、“賞”には届きませんでした。とにかかく時間に間に合わせる事ができました。朗読部門では2名が準決勝に進出し、うち1名が決勝へとコマを進めることができました。その様子は、大会翌日(6/20)夕方のNHKのニュース番組で紹介されました。結果として“奨励賞”となり、全国大会への夢は持ち越しとなりました。しかしながら、明石高校の生徒が個人部門で決勝まで進出したことは久しくなく、おそらく、40年ほど前に全国へ参加した生徒があったように聞いていますので、それ以来の快挙でした。大会の運営方法が現在の形になってからでは“明石高校初”の出来事です。よくがんばりました。

3年生は、これで大きな大会は終了となります。それぞれの進路実現に向けてしっかりと取り組んでほしいと思います。2年生、1年生は、今年の反省を活かして、来年以降も県大会決勝へ進出できるようにがんばりましょう。全国大会へ参加できるように取り組みましょう。

これからは、まず期末考査、そして、県総合文化祭へ向けての取り組み、夏休みの学校行事への取り組みが中心となります。役割は大きいです。



恒例となりました。講堂からライブ中継。



県大会会場の甲南大学正門前で。
がんばりましょう。



個人部門決勝の舞台上で朗読しています。個人部門で決勝進出、よくがんばりました。